

都市再生整備計画 事後評価シート  
鞍手地区

令和8年3月

福岡県鞍手町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	鞍手町		地区名	鞍手地区		面積	39.0ha				
交付期間	令和3年～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年度		交付対象事業費	1,248百万円	国費率	40.60%					
1) 事業の実施状況	事業名													
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(鞍手地区公園)、地域生活基盤施設(緑地、人工地盤等)、高次都市施設(地域交流センター)											
		提案事業	地域創造支援事業(保健センター整備事業)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(町道 役場前1号線) 道路(町道 役場前2号線) 道路(町道 本町・今村線)	削除/追加の理由 道路(町道 役場前1号線) 町道 役場前2号線と統合し、町道 裏田・西牟田線に名称を変更したため。 道路(町道 役場前2号線) 町道 役場前1号線と統合し、町道 裏田・西牟田線に名称を変更したため。 道路(町道 本町・今村線) 用地取得に係る調整状況を踏まえ、事業の実施を見送ったため。					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし					
		提案事業	なし											
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(町道 裏田・西牟田線) 地域生活基盤施設(地域防災施設)	道路(町道 裏田・西牟田線) 町道 役場前1号線と町道 役場前2号線を統合のうえ町道 裏田・西牟田線に名称を変更したため。 地域生活基盤施設(地域防災施設) 当初の計画では高次都市施設として整理していたが、事業内容を踏まえ、地域生活基盤施設として整理して位置づけしたため。					影響なし					
提案事業		なし												
交付期間の変更	当初	令和3年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	社会増減数	人/年	△17	R1	24	R6	モニタリング	評価値	5	×	あり なし	行政サービスへのアクセス性の向上や生活利便性の改善により、定住及び転入の促進に一定の効果は認められ、社会増減数は従前値から改善した。しかしながら、転出超過は解消されず、当初設定した目標値の達成には至らなかった。	なし
	指標2	住よいと感じている人の割合	%	44.8	R1	55.8	R6			51.9	×	あり なし	庁舎整備や周辺町道、公園整備により、生活環境の改善に一定の効果は認められ、「住よいと感じている人の割合」は従前値から上昇したものの、住民意識の変化に時間を要することから、当初設定した目標値の達成には至らなかった。	なし
	指標3											あり なし		
	指標4											あり なし		
	指標5											あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等				
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-				
	官民連携による取組	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-				
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-				

## 様式2-2 地区の概要

### 鞍手地区(福岡県鞍手町) 都市再生整備計画事業の成果概要

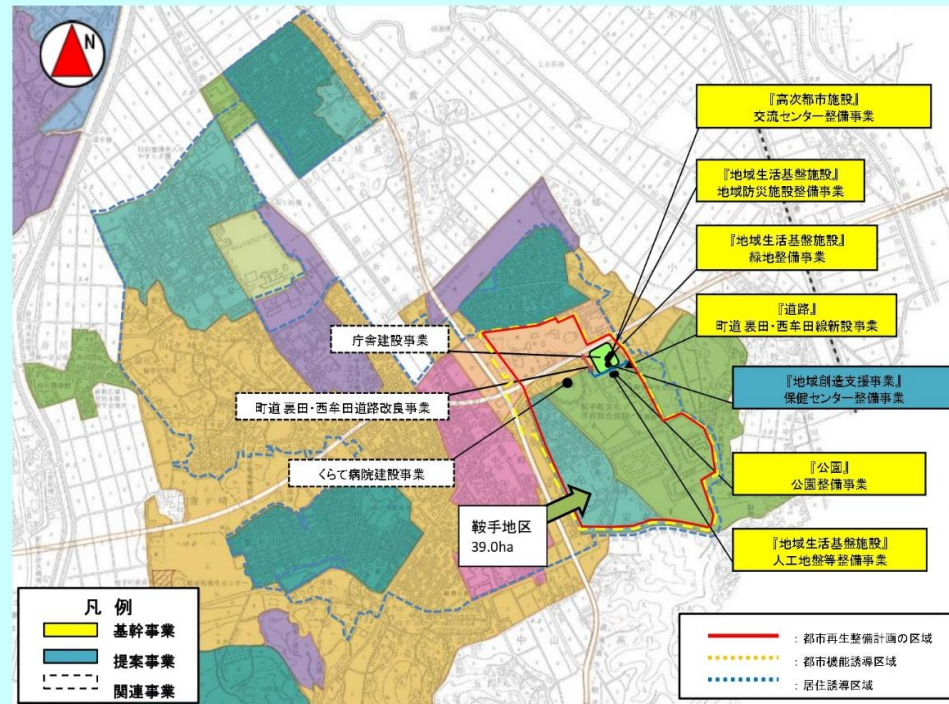
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:誰もが便利で快適な生活を営むことができるように、生活環境の向上を目指す。 目標①災害に強いシステムづくり 目標②あらゆる世代の交流や情報交換の場の創設 目標③公共施設と社会福祉、医療施設の集積を軸とした中心市街地の形成 目標④徒歩で移動可能なコンパクトな拠点の形成	社会増減数	単位:人/年	△17	R1	24人	R6	5	R6
	住みよいと感じている人の割合	単位:%	44.8	R1	55.8	R6	51.9	R7
		単位:		H		R		R
		単位:		H		R		R
		単位:		H		R		R



庁舎建設事業



『道路』  
町道 裏田・西牟田線新設事業



基幹事業  
公園整備事業

まちの課題の変化	各種整備により、生活環境の改善や利便性向上に一定の効果は認められたものの、人口減少や住民満足度の向上といった課題については、短期間での改善が難しいことが明らかとなり、より中長期的な視点での取組が必要な段階へと課題が移行した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	今後は、公共施設や福祉・医療施設の集積を活かし、災害に強く、あらゆる世代が交流できる拠点形成を進めるとともに、徒歩による移動を基本としたコンパクトなまちづくりを継続する。あわせて、施設の利活用や運営などソフト面の取組を強化し、誰もが便利で快適に暮らせる生活環境の向上を目指す。